

令和2年2月吉日

支部長・訓練校長 各位
建青協役員

(一社) 富山県建築組合連合会
会長 松田 昇
教育指導委員長 根塚三起生
(公印省略)

第36回全国青年技能競技大会の勉強会・予選会について (案)

時下ますます御健勝のこととお慶び申しあげます。

日ごろ当連合会の事業運営にご協力を頂きお礼申しあげます。

さて、第36回全国青年技能競技大会の選手選抜予選会を下記のとおり行います。

つきましては、各位にはお忙しいとは思いますが若き出場者を推薦して、別紙参加申込書に取りまとめて頂きます様お願い申しあげます。

※ 訓練生の参加は各訓練校長でとりまとめ、その他の参加者は支部長にて取りまとめを頂きます様宜しくお願ひ致します。

記

1. 日 時 4月19日(日)(勉強会)午前8時~午後5時
5月17日(日)(予選会)午前8時~午後5時
2. 場 所 研波高等職業訓練校 研波市豊町2丁目16-12 TEL 0763-32-5778
3. 出場対象者 36歳以下の組合員
4. 課 題 四方転び踏み台(製図・実技)
5. 参 加 料 無 料
6. 持 参 物 筆記用具の他別紙持参工具一覧表による
7. 全国大会出場者 優秀な作品製作者から出場選手を若干名選抜する。
(全国大会の日程 9月19日~21日
場所 群馬県高崎市 Gメッセ群馬(予定))
8. 申 込 先 (一社)富山県建築組合連合会へFAXにて申込んでください。
(申込先 FAX番号 076-428-8277)
9. 申込締切日 令和2年4月6日(月)必着
10. 添付書類 (1)青年技能競技課題 3一葉
(2)持参工具一覧表 1一葉
(3)参加申込書 1一葉
(4)注意事項 1一葉
以上

令和2年度選抜予選会参加申込書

(一社) 富山県建築組合連合会
会長 松田 昇 殿

令和2年4月19日・5月17日の2日間で行われる令和2年度全国青年技能競技大会選抜予選会の参加を申し込みます。

令和2年 月 日

| | | |
|-------|-----------|--|
| 出 場 者 | 氏 名 | |
| | 生 年 月 日 | |
| | 住 所 | |
| | 電 話 番 号 | |
| | 支 部 名 | |
| 事 業 所 | 事 業 所 名 | |
| | 事 業 主 名 | |
| | 事 業 所 住 所 | |
| | 支 部 名 | |

全建総連第36回全国青年技能競技大会 競技課題

課題図に示す支給材料を用いて、仕様概要に従い「四方転び踏み台」を製作しなさい。

1. 競技時間 標準時間 6時間（打ち切り時間）

2. 材料

- (1) 支給材料の断面寸法は、仕上がり寸法より1mm大きく、機械かんな削りされたものである。材料の樹種は「メラピ」とする。
- (2) 選手1人につき、丁板90mmを2枚、掛金300mmを1丁、削り台1本(1500×105×105程度/mm)、加工台2本(400×105×105程度/mm)、削り台止め1本(300×40×30程度/mm)、あて木2個(150×36×30程度/mm)、1mの直定規、接着剤を支給する。
- (3) 支給材料の交換については、競技委員(中央技能検定委員)、または運営委員の判断により行うものとする。
- (4) 競技開始後の支給材料の交換には原則として応じない。

| 支給品(単位:mm) | | | |
|------------|---------|------------|----|
| 天板 | | 850×111×31 | 1枚 |
| 柱 | | 700×51×31 | 4本 |
| 貫 | A | 470×61×31 | 1本 |
| | B | 420×41×31 | 1本 |
| | C | 540×41×31 | 1本 |
| | 掛金(300) | | 1本 |
| 金物 | 丁板鉄 | 90×55 | 2枚 |

3. 仕様概要

- (1) 課題は10分の3勾配とする。

(2) 作業順序

現寸図の製作(提出)→部材の木削り→墨付け→加工仕上げ→組み立て(提出)

(3) 現寸図の製作

①現寸図は、ケント紙(1091×788mm程度)2枚へ明確に表現すること。

②課題図により、部材の墨付け・工作などに必要とする、真墨・陸墨・取合墨その他の墨を示す。なお、選手が墨付けに必要と思われる規矩上の図面などは、書いても差し支えない。

③現寸図の配置は、課題図に示してあるものを参考として下記の現寸図を書くこ

と。天板平面図、正面図、側面図、柱展開図、基本図（100mmを基本とし各名称を入れる）、柱のくせ（木口）とし、天板平面図及び正面図は中心線より右半分とする。ただし、重複しないこと。なお、柱展開図（側面）にA貫、およびB・C貫の位置を書き入れる。

- ④現寸図が書けた選手は、現寸図右下に席番号のみ記入し、運営委員に申し出る（採点後返却する）。

注）現寸図の採点・返却には一定の時間を要すため、提出後の作業に支障を来たすと考えられる場合は、提出前に各自必要な対応を図ること。

（4）木削り

- ①支給材料は、課題図・現寸図の仕上がり寸法に正しく木削りする。
②柱はくせを取り仕上げる。

（5）墨付け

- ①部材の墨付けは、墨さし又は鉛筆、鉛筆又はしらびきとする。
②部材の墨付けは、工作中に必要なすべての墨付けを行うこと。
③ほぞおよびほぞ穴は、けびきでもよい。

（6）各部材の仕口

- ①下記に示す部材の仕口により、必要なる工作を行い、部材の見え掛かりとなる木口は、すべてかんな削り仕上げとし、接合部分を除き、糸面取りとする。
②天板と柱の取合 打ち抜きほぞ差し
③柱と貫 打ち抜きほぞ差し（正面は欠取り）

（7）組み立て

- ①組み立てに入る前に作業場を清掃し、組み立てる。
②丁板の取り付けは、天板下端に外側から30mmで当たり欠きをして取り付ける（木ねじはドライバーで締め付ける）。
③掛金は右側面に取り付ける（課題図参照）。
④課題は接着剤を使用し、くぎ及びくさび打ちをしてはならない。

（8）課題の提出

- ①組み立てが完了した選手は、席番号を記入した荷札を課題に付けて、運営委員に申し出る。
②課題とともに、現寸図を提出する。
③提出された課題には、いかなる理由があろうとも、選手はいつさい手を触ることはできない。

4. 持参工具等について

| 区分 | 品名 | 寸法又は規格 | 数量 | 備考 |
|-----|---------------------|--------------|-----|---|
| 工具類 | 墨つぼ、墨さし | | 適当数 | |
| | さしがね | メートル 250~500 | 適当数 | |
| | まきがね(スコヤ) | | 適当数 | |
| | 自由がね | 任意 | 2 | 工作用型板類の使用は禁止。 |
| | ひらかんな | 荒、中、仕上げ | 適当数 | 替え刃式も可。 |
| | のみ | | 適当数 | 種類は自由。 |
| | のこぎり | | 適当数 | 両刃、方刃のこぎり。 替え刃式も可。 |
| | けびき (副尺付き びきを含む) | 任意 | 2 | 市販、またはそれと同等のもの。 |
| | げんのう | 大、小 | 適当数 | |
| | きり | | 適当数 | 予備の持参可。 |
| | はたがね | | 1組 | クランプ (有効 30 cm以内) でも可。 柱、貫、天板に関する胴付の締め付けは禁止。 |
| | かじや (バール) | | 適当数 | |
| | ドライバー | | 適当数 | スクリュードライバーでもよい。充電式は可。穴あけ可。 |
| | くぎしめ | | 適当数 | |
| 作図用 | しらびき (白書き) | | 適当数 | カッターも可 |
| | 羽根虫、くぎ、ビス | | 適当数 | 削り止め用 |
| | 三角定規 | 市販品に限る | 適当数 | 固定用の画鋲類、セロテープ、かるこはよい。1面に対し、5mmまたは10mm幅のライン計2本、3面で最大6本まで可。 <u>それ以外のラインが入ったものは使用禁止。</u> 市販品であっても方眼三角定規は不可。 <u>※別添「三角定規の取り扱いについて」参照</u> |
| その他 | コンパス | 任意 | 適当数 | |
| | 鉛筆及び消しゴム | | 適当数 | シャープペンシルも可 |
| その他 | 研磨用砥石 | | 適当数 | |
| | 養生用具 | | 適当数 | 部材工作の下敷き |

| | | | | |
|-----|--------|--|-----|------------|
| | 清掃用具 | | 適當数 | ホウキ、チリトリ |
| | 小型の置時計 | | 適當数 | |
| その他 | その他 | | 適當数 | 市販品のブラシ、雑巾 |

5. 禁止事項

以下、減点及び競技中止の対象となる場合があります。

- (1) 服装は競技に相応しいものとする（裸足・サンダル（クロックス）は禁止。履物は足袋、草履等が望ましい。靴下での作業については、現寸図作成の際は認めるが、加工時は認めない）。
- (2) 工具箱類を、削り台、加工台等として使用しないこと。
- (3) 工具類に型や定規等を取り付けないこと。けびき、自由がねは、競技開始まで固定しないこと。
- (4) 競技開始の合図があるまでは、かんなの刃の調整以外（削り台、加工台及び削り台止め、あて木を加工すること。ケント紙の固定（固定する為のテープ等の準備含む））は禁止する。
- (5) 競技区域への持込禁止
 - ・課題に参考となるメモ、目盛、角度などのある物。
 - ・携帯電話
 - ・きりふき
 - ・直定規（1m）、あて木（これらは会場で支給する）。
 - ・デジタル表示が付いた工具等（電卓を除く）
- (6) 電卓は種類を問わず使用してもよいが、プログラム等の事前入力は不可。

6. 注意事項

- (1) 競技開始前に持参工具を点検するので、課題説明後、自分の競技区画に入った
らすぐに通路側に用意すること。
- (2) 工具類は、できるだけ施錠のできる工具箱に格納すること。
- (3) 工具類は、規定の範囲内で必要数を確実に用意すること。
- (4) 自分の競技エリア外（通路）に物を置かないこと。削り台等も通路にはみ出さないこと。

全建総連第36回全国青年技能競技大会 基本的採点項目

A. 現寸図

1. 平面図 ①天板の長さ、幅
②穴、位置
2. 側面図 ①全体の高さ
②貫までの高さ
③柱の幅
④柱の開き
⑤正面の柱、貫の位置、
幅、成、穴、欠き込み
⑥裏面の柱、貫の位置、
幅、成、穴
⑦天板のほぞ穴の位置
3. 正面図 ①天板の厚み
②中心線
③貫と天板の高さ
④柱の開き
⑤柱と貫の幅
4. 展開図 ①柱の長さ
②柱の幅
③ほぞの穴
④柱の欠き込み
⑤貫の位置と穴
⑥柱のくせ
5. 基本図 ①殳
②勾
③中勾
④長玄
⑤短玄
⑥小殳
⑦小中勾

B. 総合的な出来ばえ

1. 貫の上端までの高さ
2. 天板までの高さ
3. 柱のくせ
4. 右後ろの柱を基準にした3本の柱

のずれ

5. 天板のずれ
6. 掛金の取り合い
7. 丁板の取り付け
8. がたつき
9. かんな仕上げ
10. 面取り、木口仕上げ
11. 全体的な出来ばえ

C. 製品寸法の精度

1. 天板の幅、長さ、厚さ
2. 貫のほぞの寸法
3. 柱の幅、長さ、貫までの高さ
4. A貫の成、幅、長さ
5. B・C貫の成、幅、長さ
6. 天板のほぞの寸法

D. 製品の接合部の寸法

1. 各所取り合い ①柱と天板
②A貫と柱
③B・C貫と柱
2. 各所すき間 ①天板とほぞ
②A貫と柱 ほぞ
欠き込み
③B・C貫と柱

E. 作業態度（服装含む）

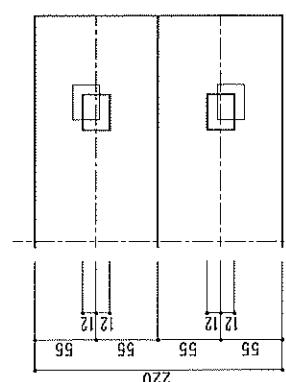
F. 仕様誤り

A. からF. までの各項目について採点し、総合計点数の高い者を上位入賞者として、各賞を付与することとする

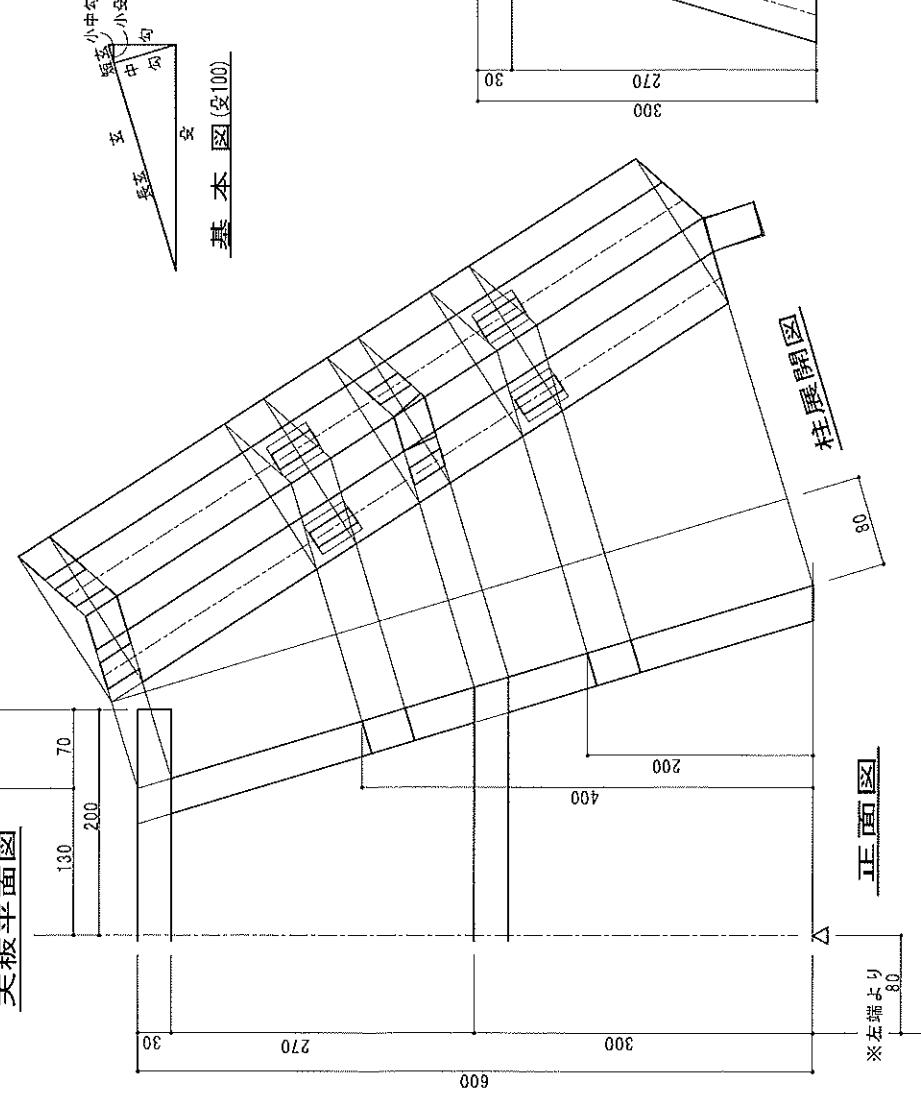
全建総連 第36回全国青年技能競技大会

課題詳細図

この部分は書かなくてよい

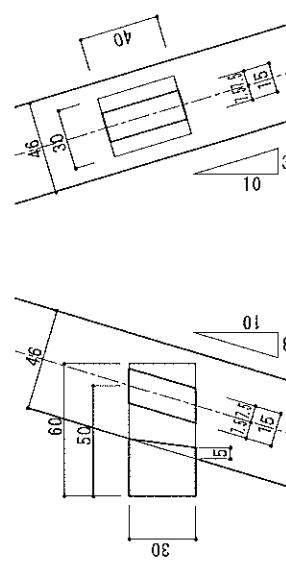


天板平面図

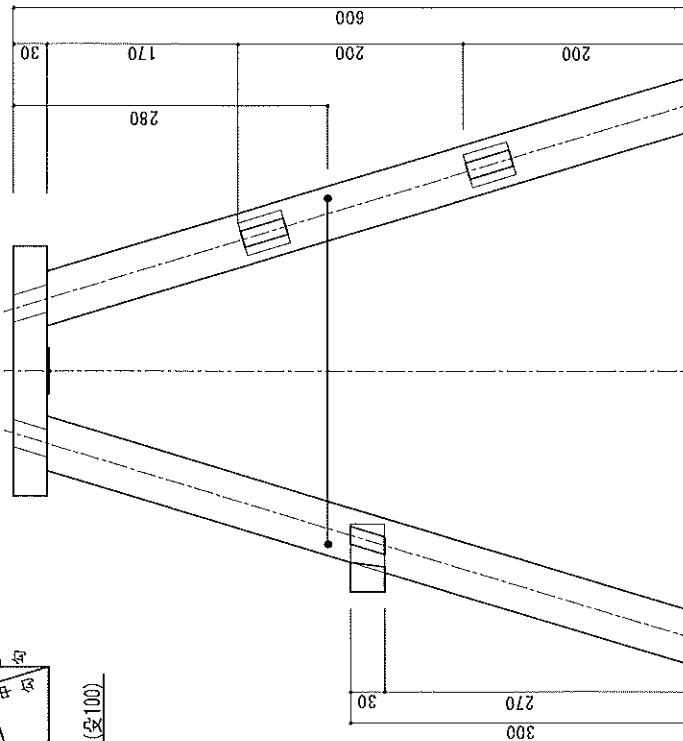


正面図

柱展開図



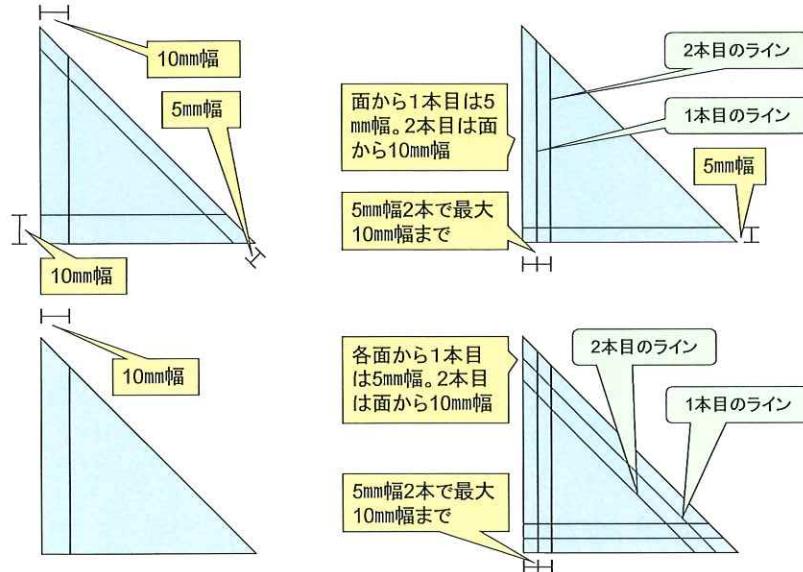
側面図にによる
A.B.C部詳細図



側面図

全国青年技能競技大会
三角定規の取り扱いについて

①ライン引きが認められる例



②ライン引きが認められない例

